



ICTドリームスクール 懇談会資料 (eboard)



**NPO法人eboard
代表理事 / 創設者 中村孝一**

- edtech
- MOOCs
- 基礎学力
/ 学習支援

大学在学に学習塾勤務や学習ボランティアを通じて、教育格差を痛感。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、2011年7月にeboardを立ち上げ退職。
これまでに自ら1500本以上の映像授業を制作、
2013年12月末に団体をNPO法人化、代表理事を務める。



「学びをあきらめないを実現する」

1. いつでも、どこでも、アクセスできる学習環境
2. 自主的・自律的な「学び」 (⇔教えてもらう「学び」)
3. 子ども達の学びを「あきらめない大人」を支援する



1. 低価格または無料のオンライン学習環境

HTMLブラウザでサービスを提供。

YouTubeなどを活用し、個人・非営利利用は無料。

2. 自分の努力で学力を伸ばせる学習サービス

映像授業とドリルで、つまずきを解消しながら学べる。

3. 公（教育）またはその周りの現場で利用できる。

年間数十回、eboardの活用現場を訪問し、

先生・支援者向けの機能開発を実施。低価格でサポートを提供。



eboardの教材 (www.eboard.jp)

学習の順序や単元のつながりが分かりやすいよう、各教科ごとに学習マップで単元を構成しています。学習内容の全体像を示し、学習履歴も視覚的に分かりやすくなります。

小・中・高 × 科目ごとに学習マップで単元（教材）が構成されています。

中学生 英文法 の学習マップ

問題中 動画完了 問題完了

Level.1 Level.2 Level.3 Level.4 Level.5 Level.6 Level.7 Level.8 Level.9

アルファベット 英語の発音 冠詞 名詞 人を表す代名詞 疑問詞

be動詞① be動詞② 一般動詞 命令文 過去形 進行形 不定詞 動名詞 いろいろな疑問文 不定詞構文

文型 現在完了 関係代名詞

eboardの各単元では、
下記3つの教材で学習が進められます。

- ① 映像授業
- ② ドリル（問題）
- ③ プリント教材

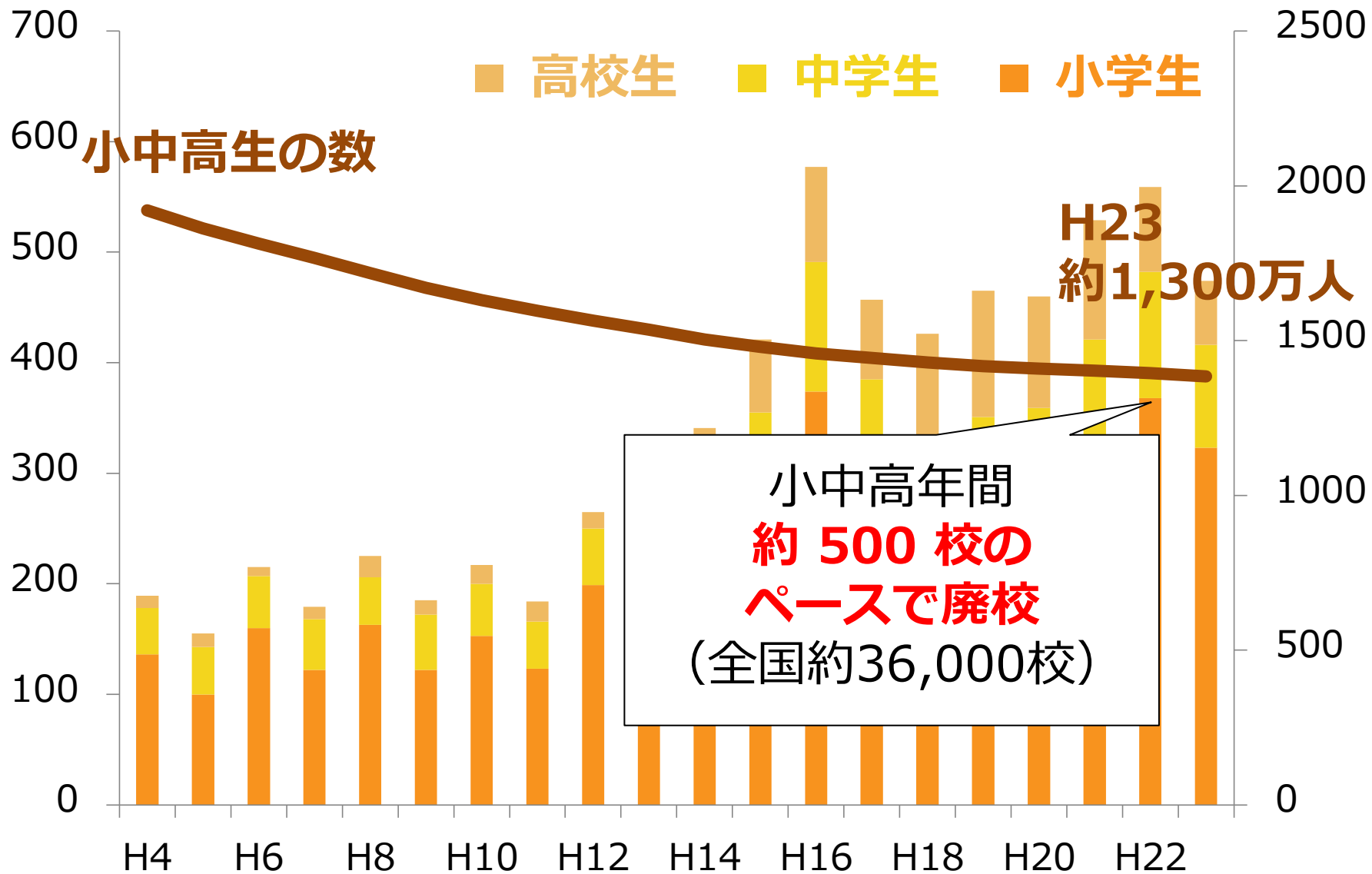
スマートフォン表示



1. 島根県中山間地 公営塾での利活用

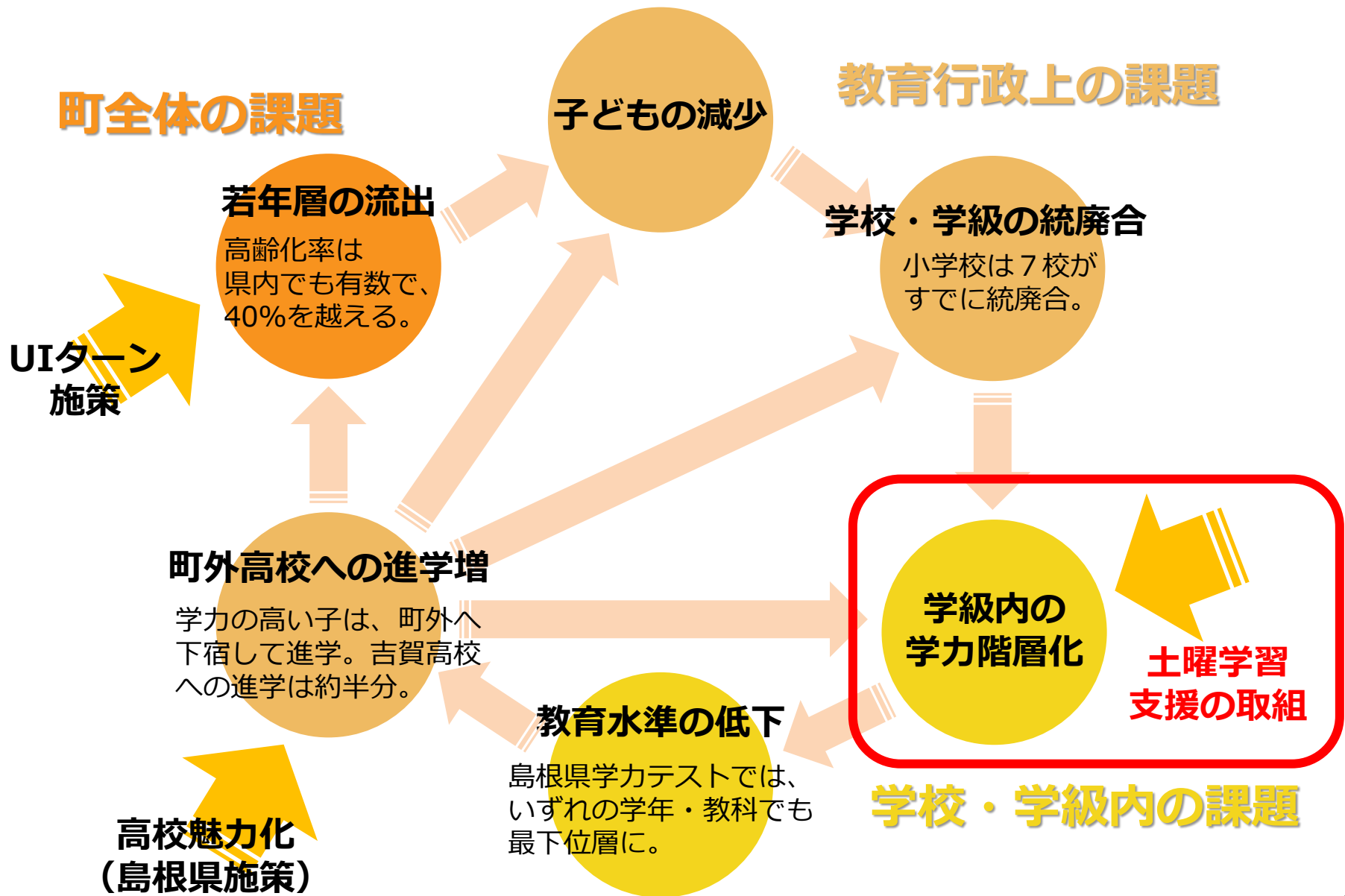


1-1. 小中高校の廃校数推移





1-2. 中山間地域の教育課題：島根県吉賀町



1-3. 島根県内でのeboardを活用した学習支援

島根県内の離島・中山間地域は、
全国でも過疎化が進行する地域。

同様の課題を持つ地域・学校が多くあります。

益田市地域学習支援
(2015.3~)

津和野町@高校公営塾
(2014.10~)

吉賀町@中学学習支援
(2013.8~)





1-4. 公営塾での活用の実際



1. 基礎学力の定着をめざした個別学習

学力にばらつきがあり、数学年分の学び直しが必要な生徒も多い。
eboardを活用することで、学力・進度に応じた個別学習が可能に。

2. 低コストでの学習環境

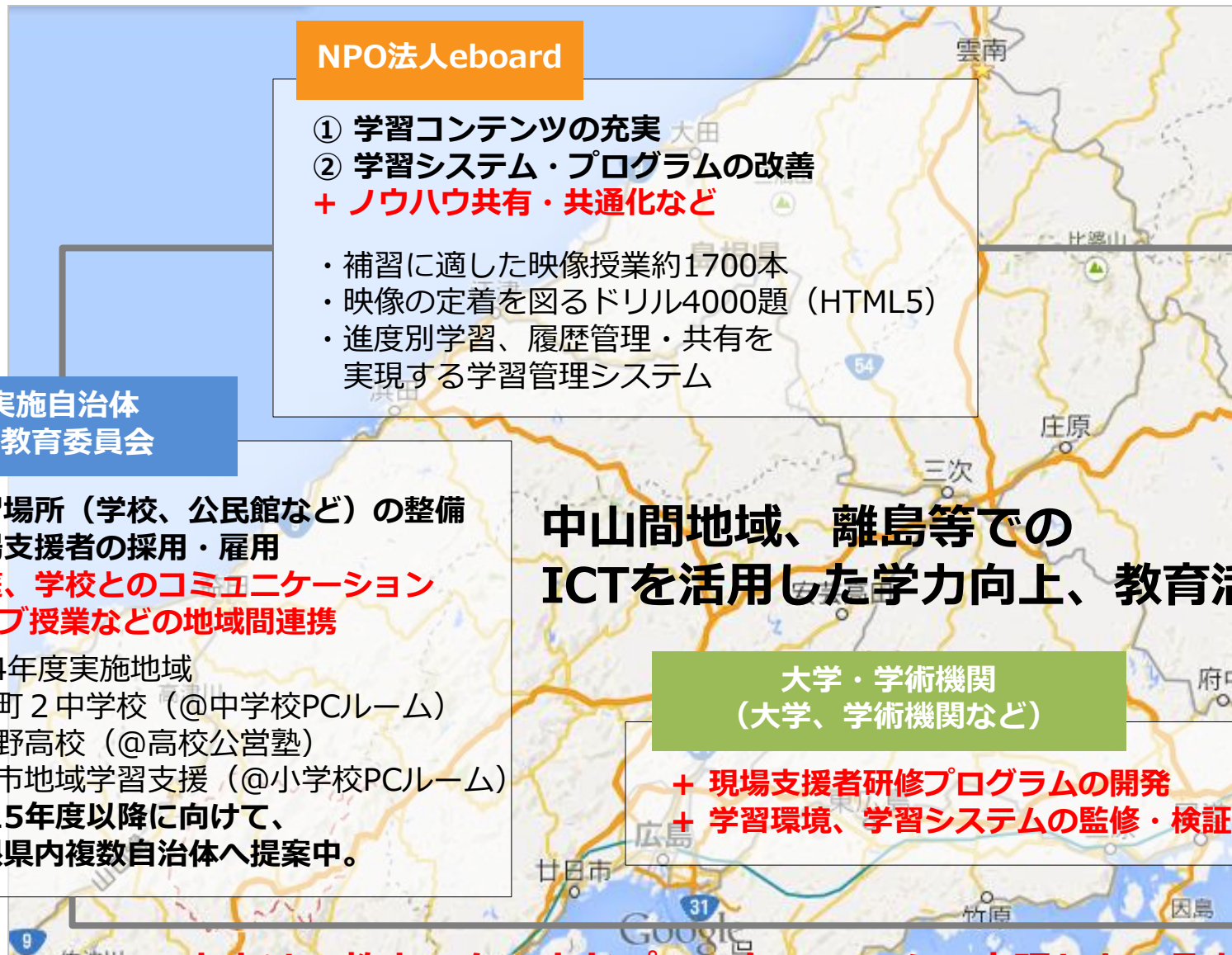
現場支援者が少ない中でも、学習履歴の把握により対応が可能。
クラウド×HTMLのサービスのため、既存のパソコンルームなどでも利用できる。

3. 動画、(デジタル)ドリル、プリント教材の組み合わせ

ドリル→動画の順で学習することで、試行錯誤的に学習を進められる。
学習特性や家庭環境に合わせて、プリント教材も活用して支援する。



1-5. 取り組みの展開に向けて



+赤字は、教育・クラウドプラットフォームで実現したい取り組み

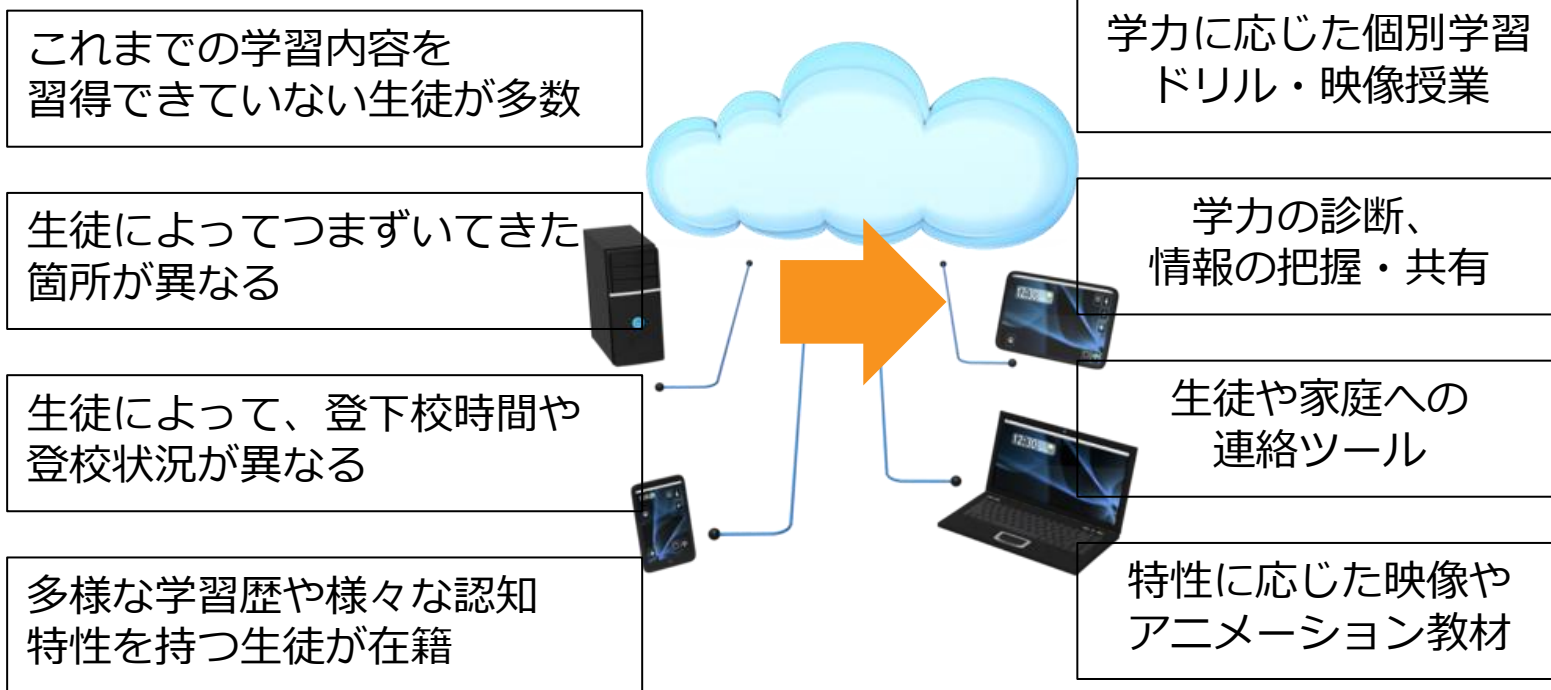


※ 定時制・通信制高校、フリースクールでの学び直し

eboardの利用者も不登校児童・生徒の割合が高く、定時制・通信制高校、フリースクールでの学習には、学習クラウド・デジタル教材の利用が効果的と考えられます。

定時制・通信制、フリースクールでの 学習指導上の課題

学習クラウドで実現できること



※ 来年度、京都府内の昼間多部制単位制の定時制高校にてeboardやラインズドリルの活用を計画されています。タブレットも1年生全員に配布される予定です。



eboardの多様な学習者

学校の教え方が嫌で、学校に行っていない所eboardを見つけ、面白いなあと思って動画を見ている。学校に行っていないから追いついて勉強しなきゃという気でeboardは全然やってなくて、へえ~と思う時が好きで、インターネットなのに人の温かさが感じられて、大好きなのでやっている感じです。

[10歳男の子]

息子は算数だけが極端に進み、書くことに苦手があるので通信教育も合わず、発達障害もあって教えるのにコツが必要で、なかなかぴったりくるところがありませんでした。eboardの動画の語り口は面白く、息子のような幼児でもわかりやすく教えて下さるので続けられていると思います。

[5歳男の子 保護者の方]

私は商業高校出身の大学2回生です。中学の時は落ちこぼれで勉強もあまりしておらず、英語の基本的能力が身につけていない状態で進学しました。様々な教材を手に取り学習しようとしたのですが、なかなかいい教材とも出会えず、継続もしませんでした。しかし、このeboardを始めて以来、ずっと継続しており、勉強することがすごく楽しいです！

[大学生 男性]



2. 教材・素材ライブラリ



2-1. 教材・素材ライブラリ

デジタル教材活用・普及にむけての課題

- ・ (特にHTMLベースの) デジタル教材の数が少なく、コスト高。
- ・ 紙教材に比べて、教師による制作、加工・編集が困難。
- ・ 制作、加工・編集が困難なため、活用の柔軟性が低い。

先生がつくる、共有する 教材・素材ライブラリ

教材・素材API

教材・素材をAPIを利用して、取得できる機能
(教材利用は学校教育内、API取得からのみ)。
APIを利用する企業は、教材・素材の提供者
(国・教委または企業) に対して利用料を払う。

教材制作・編集機能

素材を編集・コピー、また統合し、HTML教材を制作できる機能。従来の教師自作プリントなどを素材集を活用して、かんたんに作成できる。制作した教材は、教委に帰属。国または県教委等の単位で、共有される。

素材ライブラリ

学校教育内で自由に使える教材・素材のライブラリ。国や教委が無料で一定量を、企業も低価格で提供する。またはネット上のライセンスフリー素材を検索・登録できる仕組み。

2-2. 教材・素材ライブラリの活用イメージ



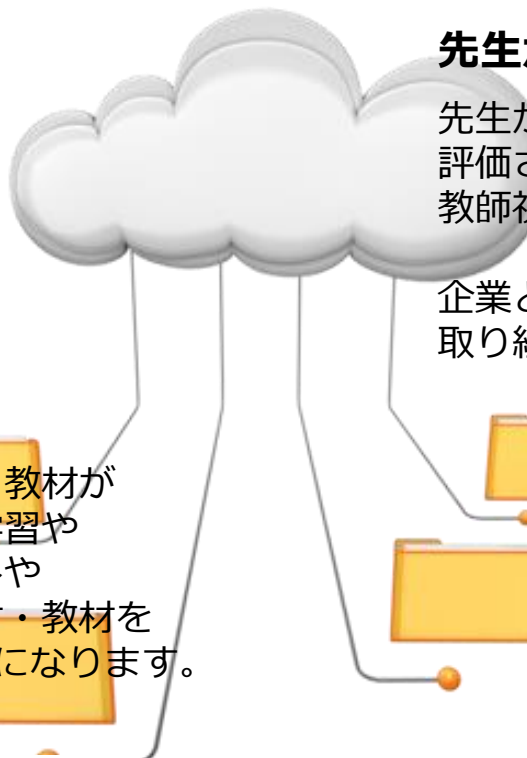
協働学習で

協働学習のテーマ・題材には、素材・教材が必要になります。協働学習での調べ学習や協働学習向けのアプリ（ロイロノートやスクールタクトなど）から、直接素材・教材をAPI経由で呼び出すことができるようになります。

picture from Lupuca on Flickr



picture from TANZICT on flickr



先生がクリエイターに

先生が教材制作に関わり、評価される体制がつくられることで、教師視点からの教材開発が進みます。

企業と先生や自治体が連携した取り組みを促進できます。



Picture from Wonderlane on flickr

学習アプリの開発に

ドリルや学習支援アプリの開発には、素材・教材などのコンテンツが不可欠です。コンテンツを企業が利用できることで、アプリの機能面の開発に特化できます。

学習クラウドの利用により、ライブラリの利用が可能になれば、学習クラウドへの企業参画もうながすことができます。